

【別紙】

協定締結式にて、協定書に調印された両氏のコメントをご紹介します。

石阪市長(町田市)のコメント

今回の協定は、「薬学」という、実は日々の暮らしや健康に密接に関わる専門分野を、「まちづくり」というフィールドに結び付けることで、市民の皆さんにとって、より身近に、そして、より理解しやすく、親んでもらえるものにしよう、それを官学連携で発信し取り組んでいこう、というものです。

町田市民の皆さんが健康的に美しく、そして楽しく暮らし続けていく環境づくりに、昭和薬科大学ならではの専門領域を最大限に活かしながら、これから一緒に取り組んでいければと思っています。

町田市長 石阪 丈一

山本学長(昭和薬科大学)のコメント

本学は、来年 90 周年を迎えます。もとは世田谷区にキャンパスがありましたが、1990 年に移転してまいりまして、来年で 30 年となります。その間、地域の皆様にあたたかく迎えていただき、また、町田市さんとも 2006 年に市内の 14 大学で学長懇談会を通して連携する協定を結ぶなど、多様な関わりをさせていただき、今日に至っております。特に、ここ数年は、市内唯一の医療系大学としての強みを発揮することで、市民のみなさまの健康・福祉の増進という側面での連携を強化できていると考えています。

学生の学びが向上し、地域の活性化と健康度アップにつながる win&win な活動の展開を考えております。ぜひ知恵を合わせ、一緒に活動することで成果を 2 倍 3 倍にできるような協定にしていきたいと思えます。

昭和薬科大学 学長 山本 恵子